

2025 年 12 月度

## 【ネットワーク促進部】

<他企業・団体と連携した専門家派遣事業>

★国が認証する唯一の情報セキュリティ認証「技術情報管理認証制度（TICS）」の取得・更新を希望する 25 社の中小企業に、経済産業省の専門家派遣事業（企業負担なし）と連携して ITC 専門家を派遣し指導助言を実施中です。また、業務提携している認証機関（日本金型工業会、日本金属プレス工業協会）の審査を実施していますが、自動車業界を始めサプライチェーン全体のセキュリティ強化の動きにより製造業の中小企業から認証取得の問い合わせが増えています。また、来年度後半の開始が予定されている「サプライチェーン対策評価制度（星 3・星 4 取得）」に関しても、経済産業省、IPA と連携をしながら ITC 活躍の場を模索してまいります。（松下担当）

★誰もがデジタル社会の恩恵を享受できる環境構築を目指し、当協会は「地域コミュニティの活性化を図る団体」として「デジタル推進委員の取り組み」を支援しています。事務局では、委員の 80%が「活動するきっかけがない」と回答した課題の解消に向け、活動の具体化を支援する施策を推進しています。その一環として、12 月 10 日に「デジタル推進委員の活動事例」を公開いたしました。現在地域で活躍されている委員の体験談や所感を共有することで、これから活動を始めの方々への一助となることを目指しています。今後も、委員の皆様が活動のイメージを持ち、主体的に活動を開始できるような実効性のある支援を継続してまいります。（石井担当）

デジタル推進委員の活動事例はこちら→

[https://www.itc.or.jp/foritc/250501\\_DigitalPromotionCommittee.html](https://www.itc.or.jp/foritc/250501_DigitalPromotionCommittee.html)

デジタル推進委員応募はこちら→

<https://www.itc.or.jp/foritc/DigitalAgency251210.html>

<自治体関連取り組み>

★12 月 22 日、自治体支援 WG+勉強会・第 3 期第 7 回（通算 32 回目）を開催いたしました。勉強会では、WG の米田リーダーが講師として「ITC としてのキャリアと自治体支援」と題し、前半では ITC 資格取得に至った理由・自治体支援へと歩み出す契機となった経験・重層的なキャリア形成の重要性、後半では自治体支援ワーキンググループの立ち上げから現在の展開に至るまでの軌跡を自治体支援の事例を交えながら解説、今後の取り組みについてもお話ししていただきました。WG では、今年度少しずつ広がっている地域 ITC との協業による自治体支援の活動状況や、2 月に実施されるフォローアップ研修「d.27 自治体 D X 支援基礎研修」の進捗などが共有されました。（山川担当）

★2 件の自治体公募案内メールを配信いたしました。鹿児島県鹿児島市様（12 月 23 日）、東京都目黒区様（12 月 24 日）、どちらも昨年度に続きリピーターの自治体様になります。自治体支援に関心のある方、手を挙げてみてはいかがでしょうか。自治体様からの IT コーディネータ活用ニーズはますます高まっていることを感じますが、最近ではマッチングできないことも増えてまいりました。理由は様々あるのですが、マッチングを担当している者からすると”IT コーディネータの人手不足”も感じています。1 件でも多く、1 人でも多く、良いご縁が結べるよう引き続き取り組んでいきたいと思ひます。（山川担当）

★12 月末、IT コーディネータ協会は総務省様の都道府県による市町村 DX 支援事業「人材プール協力企業・団体」として登録をいたしました。11 月の協会レポートで紹介しました”総務省・自治体 DX アクセラレータ”に、引き続き IT コーディネータを紹介してまいります。（山川担当）

#### <金融機関連携取り組み>

★10 月中旬に（株）しんきん情報システムセンター様より、「第 36 回しんきん情報システム研究会」での基調講演について登壇のご依頼をいただきました。今回は、小規模事業者支援を得意とする独立系 IT コーディネータ（ITCA 理事）に講師として登壇いただき、12 月 5 日の研究会にて「小規模事業者の DX は『まずコレ』から！」をテーマに講演を行いました。当日は、全国の信用金庫および関連組織の企画・業務推進・システム部門の皆様にご参加いただき、例年を大きく上回る 180 名以上が集まる活気のある会となりました。当協会では、今後も皆様の業務に役立つ情報発信に努めるとともに、金融機関との連携を一層深める取り組みを進めてまいります。（松田担当）

★12 月 19 日、第二地銀協会様のご依頼を受けた、会員行職員(11 行、15 名)向け「デジタルアドバイザー養成講座」を実施いたしました。当日は独立系 IT コーディネータ 2 名が講師を務め、「デジタル化」と「DX の本質」への理解を深める講義に加え、生成 AI を活用した実践的なワークを通じて、銀行業務での活用方法や留意点をお伝えしました。「このような研修を探していた」などの声もいただき、好評の内容となりました。今後も、IT コーディネータの専門性と現場経験を活かし、金融機関のデジタル推進に貢献できる取り組みを積極的に進めてまいります。（松田担当）

★12 月 23 日（火）、金融機関連絡コミュニティ第 8 回幹事会を開催いたしました。幹事会では、2026 年 2 月 27 日（金）に予定している第 3 回定例会のプログラム詳細について協議し、内容の具体化を図りました。第 2 回定例会後のアンケートでは、グループワークにおける「時間が足りなかった」とのフィードバックが多く、交流ニーズの高さが再確認されました。これを受け、次回定例会ではグループワーク時間の拡充など時間配分の最適化を行い、より満足度の高い内容を目指します。コミュニティメンバー登録は 100 名を超え、活動の輪が広がっています。今後もメンバーの皆様にとって価値ある活動を展開し、コミュニティの更なる活性化に努めてまいります。引き

続き、コミュニティメンバーを募集しています。金融機関所属の ITC（ITC アソシエイト含む）の皆様には定期的なメルマガ配信も行っておりますので、ぜひご覧ください。（石井担当）

第 2 回定例会開催報告はこちら→

[https://www.itc.or.jp/foritc/fin\\_20251119.html](https://www.itc.or.jp/foritc/fin_20251119.html)

コミュニティメンバー募集のページはこちら→

<https://www.itc.or.jp/foritc/FINREC2025.html>

<他企業・団体・届出組織との連携>

★現在、ITC の届出組織への参加率を現行の 26% から 35% へ引き上げることを目標に、地域支援活動を強化しています。その一環として、デジタル経営カンファレンスを開催した届出組織の取り組みを紹介するメール配信を進めています。直近では、2025 年 1 月以降に開催予定の 6 つの届出組織を対象に、メール配信の準備を進めており、主催地域や近隣の ITC に個別に情報をお届けすることで、未加入の皆様にも各地で取り組まれている活動の意義や具体的な成果を知っていただく機会としています。協会として、こうした情報発信を通じて参加メリットをわかりやすくお伝えし、届出組織への参加促進につなげてまいります。（松田担当）

★12 月 16 日、IT コーディネータ協会が構成団体に参加している全国ワークスタイル変革大賞（主催：全国ワークスタイル変革大賞実行委員会）の全国大会が開催され、全国各地から予選を勝ち抜いたファイナリスト 8 社の優れた取り組み事例を表彰しました。"IT コーディネータ協会会長賞"には株式会社川六（香川県）が表彰されました。

記事はこちら→

<https://prttimes.jp/main/html/rd/p/000000143.000115435.html>

★12 月、講演・イベント支援・届出組織同士のマッチング・金融機関同行で 4 届出組織と一緒に活動をいたしました。IT コーディネータ協会では、届出組織活動のご支援も様々に行っております。「こんなことできないか」「こういう支援をしてほしいのだが」等ありましたら、先ずはお気軽にご連絡してみてください。（山川担当）

<ビジネスマッチング>

★12 月 5 日、神奈川県内の信用金庫様にて中小企業経営者の皆様向けに、独立系 IT コーディネータを講師とした生成 AI セミナーを開催しました。業務効率化事例や DX 推進をテーマに、生成 AI の実践的な活用方法をご紹介しました。当日は多くのご質問をいただき、参加者の皆様から「分かりやすかった」と好評でした。生成 AI への関心も高く、経営に取り入れる企業も増えています。今後も連携を深めながら、地域企業の成長に貢献してまいります。（松田担当）

## 【研修制度デザイン部】

<試験、研修等>

★ITC 試験関連では、2025 年度第 2 期試験（第 57 回）2026 年 1 月 22 日(木)～3 月 9 日(月)の実施に向け準備中です。株式会社 BCN 発行の『週刊 BCN』に広告記事を掲載し、IT コーディネータ資格の PR をいたしました。

★ケース研修第 2 期の申込者数は 12 月末で 356 名となりました（前年同時期比▲28 名）申込受付コースも少なくなりましたが引き続き集客活動に努めてまいります。給付金申請対象者は 20 名となり、証明書等発行の業務も並行して行っています。

★2023 年度に資格認定された方で、フォローアップ研修 3 講座のお申込みが完了していない方へ、3 月末の受講期限に関するご案内を郵送しております。各講師と調整のうえ追加開催を準備しておりますが、すでに残席が少なくなっている講座もございます。お早めに受講をご検討ください。

★ITCA 研修では、12 月 12 日に「公的事業紹介セミナー」を開催いたしました。中小企業庁様、観光庁様、そして中小企業基盤整備機構様より公的事業のご紹介をいただきました。中小企業支援に役立つ最新動向や課題について直接お話を伺うことができ、大変有益な機会となりました。また 12 月 17 日には、特別開催と題して「生成 AI 【実践・中級編】」セミナーを開催いたしました。本セミナーでは、実践を交えながらご講演をいただき、100 名を超える参加者の皆様に、AI 活用の未来を体感していただくことができました。今後も HP や各種 SNS にて情報を発信してまいりますのでぜひご受講をご検討ください。

★経営者講座シリーズの「情報セキュリティガバナンス」および「最新 IT 技術への向き合い方」は、外部の研修機関様の研修ラインナップに組み込んでいただいております。引き続き、その他支援機関様にも PR してまいりますので、開催にあたってのご相談がございましたら、ぜひ協会事務局までお寄せください。

<https://www.itc.or.jp/foritc/seminar/keieisha.html>

<中小企業共通 EDI に関する取り組み（鈴木、野田担当）>

★東京都金属プレス工業会（TMSA）主催の「『受発注業務 DX』研修 & 実証検証」において、実証検証フェーズが開始されました。12 月～1 月にかけて、「共通 EDI 推進サポータ」5 名が、「発注企業—受注企業」の組み合わせについて、2 つのパターンで共通 EDI の試験導入を行います。今回は、共通 EDI プロバイダとして、グローバルワイズ社の EcoChange を利用します。本実証検証の結果は TMSA 会員企業へ共有される予定であり、業界としての EDI 普及につなげるためにサポータの皆様が短期間で成果を創出できるよう、懸命に取り組んでおります。

★つなぐ IT コンソーシアム「令和 7 年度 Web カンファレンス」の参加申込の受付を開始しました。今回は「～はじめる DX・深める DX：AI 活用と共通 EDI がもたらす変革～」をテーマに開催します。

開催日：2026 年 2 月 17 日（火） 13:30 開演 ～ 17:00 終了予定

申込期限：2026 年 2 月 13 日（金）

会 場：オンラインライブ形式（Web カンファレンス）

参加費用：無料

詳細・申込はこちら→

<https://tsunagu-cons.jp/%E4%BB%A4%E5%92%8C7%E5%B9%B4%E5%BA%A6-web%E3%82%AB%E3%83%B3%E3%83%95%E3%82%A1%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%82%B9/>

★2025 年 12 月 9 日付で新たに 11 名の共通 EDI 推進サポータを認定し、計 330 名となりました。共通 EDI 推進サポータの認定者は以下のページにて公表しております。

<https://www.edi.itc.or.jp/activityintroduction>

共通 EDI 推進サポータには、以下のメリットがあります。

- ・ 共通 EDI ポータルサイトへの公表
- ・ 専用コミュニティサイトの利用（最新情報・教材・交流機会の提供）
- ・ 共通 EDI 認証ベンダとの連携による新たなビジネス機会の創出 など

共通 EDI 推進サポータの認定をご希望の ITC の方は、EDI 推進サポータ研修の受講をご検討ください。次回の開催は、2026 年 2 月 26 日（木）です。

<https://www.itc.or.jp/foritc/seminar/edisp>

#### <生成 AI 研究会>

★2025 年 12 月 10 日に、「生成 AI 活用交流会 in 広島」を開催しました。鳥取、岡山からの参加も含め、15 名の方にご参加いただきました。交流会では、AI 活用ガイドに基づき、モデル企業への AI 活用支援の進め方をグループワークにより検討しました。その後の検討結果の発表・ディスカッションでは、活発な意見交換が行われ、事務局としても大変参考になるとともに、今後の取組みに向けた刺激となりました。当交流会は来年度全国に展開していく予定です。

#### <DX 認定サポータ>

★ DX 認定サポータ制度では、ITCA 表彰（DX 認定支援賞）の入賞者の皆様に実績による DX 認定サポータ登録のご案内をいたしました。現在 101 名の方に DX 認定サポータとしてご登録をいただいております。DX 推進で活躍する ITC を増やせるよう情報発信にも努めてまいります。

## 【コミュニティデザイン部】

### <ITC アソシエイト>

★ITC アソシエイトは 12 月末日時点で、認定者の累計が 116 名となりました。金融関連の方の認定が増えてきています。ケース研修修了の方は直ちに手続き可能ですので、ITC を目指す方も、資格を有効に使っていただければと思います。

ITC アソシエイトについての概要はこちら→ <https://www.itc.or.jp/associate/>

### <会員>

★引き続き 2025 年度会員を募集しております。ITC 協会は IT コーディネータ制度の健全な運営と、IT コーディネータの活動の支援を幅広く行ってまいります。そのために、会員の皆様とともに、IT 人材の価値を高める取り組みを進めています。また、毎年 6 月の ITCA 総会では、協会の決算や次年度予算の審議という重要なテーマにご参加いただけます。協会運営に直接関わる貴重な機会です。この機会に是非ご入会ください。IT コーディネータ資格制度と協会の理念にご賛同いただける皆様をお待ちしています。

会員のお申込みはこちら→ <https://www.itc.or.jp/guidance/info/>

特典につきまして詳しくはこちら→ <https://www.itc.or.jp/guidance/special/>

### <資格認定>

★IT コーディネータ資格は 4 月始まりの年度管理となっています。2025 年度認定の受付を引き続き実施しておりますが、1 月～3 月に資格認定となった場合、4 月に新年度となるため資格更新手続きが必要になります。ご自身の認定を希望する時期を事前にご確認のうえ、お手続きをお願いいたします

### <資格更新>

★2026 年度の資格更新は 2026 年 4 月 1 日より受付開始予定です。現在、更新手続きの準備をすすめており、受付開始 1 か月前の 3 月上旬に更新のご案内を郵送いたします。ご案内の郵送先ご住所は 2 月 1 日（日）までにメンバーページの「個人情報編集」の「連絡先」ご住所をご確認頂きますようお願いいたします。

ITC+メンバーページへのログインはこちら

<https://itca.my.site.com/ITCPLLoginPage>

※「個人情報編集」画面よりご確認ください

## 【広報室】



★2月1日「IT コーディネーターの日」に開催する、全国の ITC がディスカッションで交流を図る『ITC Synergy Forum』は、ITC の皆様から寄せられた 6 件のテーマで実施します。12 月 22 日からテーマ発表と参加者募集を開始し、12 月末までに約 100 名のお申し込みをいただきました。このご案内がお手元に届く頃には各テーマの参加者も確定しております。参加者の皆様におかれましては当日どうぞよろしくお願いいたします。

ITC Synergy Forum 概要はこちら→

<https://www.itc.or.jp/news/itc-synergy-forum.html>

★同じく 2 月 1 日の深夜 25 時 35 分から、首都圏エリアの TV 局 TOKYO・MXTV で放映しているビジネス系情報番組「ええじゃない課 Biz」で、ITC を取り上げていただきます。約 5 分のコーナーですが、ITC がどのような資格か、ITC の社会的な役目、資格の取得方法などを紹介します。ご視聴になれないエリアの方も、放映後に協会の YouTube チャンネルに掲載しますので、是非ご覧ください。

MXTV「ええじゃない課 Biz」の HP はこちら→

<https://eebiz.jp/>

★また今年の 2 月 1 日は ITC 制度創設 25 周年にあたります。これを記念して、創設初年度に資格を取得され、現在も更新しておられる 290 名の ITC の方に、これまでのご功労に感謝する盾と「IT コーディネーター制度 25 周年記念誌」をお贈りすることとし、準備を進めています。なお記念誌は、オンライン版は以下の URL より無料でご提供していますのでぜひご覧ください。

<https://www.itc.or.jp/itc25th/>

★12 月のデジタル経営カンファレンスは宮城県と大阪府で開催されました。当日は会場とオンラインの開催で、ITC 以外の一般の方もご参加いただきました。1 月は兵庫県と石川県で開催を予定しておりますので、地域の ITC の方で ITC ビジネス活動にご興味のある方は、ご参加されてはいかがでしょうか。詳細は随時 HP で公開してまいりますので、ぜひご確認ください。

<https://www.itc.or.jp/society/it2025.html>